

「大津川 オオカワヂシャ調査・駆除活動」報告

手賀沼流域フォーラム実行委員会・大津川をきれいにする会

事前調査

2011年11月大津川河口でオオカワヂシャを初確認後、フォーラム事業として調査・駆除を実施してきた。

今年度は、1月25日・2月8日・9日調査を実施し、緊急度の高い逆井方面水路と隣接する湿地、及び上大津川の高南台方面の水路で駆除することを決定した。



市民緑地



松戸クリーンセンター方面水路には生息していない



駆除活動 2021年3月14日 作業時間 (1)9:00~11:30 (2)10:00~11:00

(1)上大津川高南台方面水路

報告：大津川をきれいにする会 輿石邦夫

参加：大津川をきれいにする会 10名

- ・オオカワヂシャを手で抜き取り、水で泥を落とし土嚢袋に入れ、リヤカーで集積場へ運搬した。
- ・前日の豪雨で水かさが増してオオカワヂシャは殆ど水没し、水が濁って見えにくかった。またバイパス道路の橋懸け工事中で土嚢による堰があり、その上流が腰より深かったので、そこは駆除できなかった。
- ・流れが速く、オオカワヂシャの葉などが流れたので、今後は川下に網を設置して流出したオオカワヂシャを捕捉するよう対策をとりたい。

駆除量：土嚢袋 25



(2)逆井方面水路と隣接する湿地

参加：12名（外来水生植物調査駆除登録ボランティア3名、美手連3名、フォーラム実行委員6名）

- ・前日の大雨で増水が心配されたが、水路はすでに水位が下がっていたため3名で引き抜きを行い、終了後は湿地の駆除に合流した。
- ・水路は盛り土にたくさんの芽生えがあったが、例年より少なめであった。
- ・湿地はかつて田んぼだったためひどくぬかるんでいて、足を抜くのが一苦労だった。ぬかるみと悪戦苦闘したが、生息面積が広く全てを駆除することはできなかった。

駆除量：土嚢袋 81

